

相高新聞

相生市山手1-722-10
TEL (0791)23-0800



HPのQRコード

特別非常勤講師による授業 西播磨から名刀を

十月二十三日(火)は二年生自然科学コースの生徒、三十日(火)は二年生理系の生徒を対象に、刀工の高見國一氏を講師にお招きして、「西播磨から名刀を」というテーマで特別講義をしていただきました。

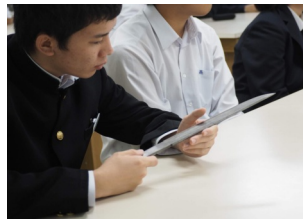


西播磨は、良質な砂鉄(宋粟鉄・千種鉄)の産地であり、木炭の原料となる豊かな森林にめぐまれていたため、古くからたたら製鉄が盛んに行われていた地域でした。講義では、原料の砂鉄から

鉾(けら)とよばれる鋼の塊を作る工程や、その鉾を鍛錬して刀剣が完成するまでの工程を、実物や画像を交えながら解説していただきました。また、刀鍛冶になろうと思ったきっかけなど、高見先生ご自身の話もしていただきました。

「三振りに一振りできれば上手」といわれるくらい失敗の多い刀剣づくり。講義を通して、物作りのおもしろさと共に、作り手の難しさや職人技術のすばらしさを学ぶことができました。また、刀剣の原料である砂鉄や玉鋼、貴重な鉄隕石(隕鉄)、鉄隕石を混ぜて作られた短刀(流星刀)

の実物に触れ、そのにおいや重さを肌で感じることができました。高見先生が最近制作された太刀にも見入っていました。講義中にも多くの質問が飛び交い、講義後も高見先生を囲んで様々な質問をするなど、生徒たちは興味深く学習できたようでした。



防災避難訓練

昨今、南海トラフ巨大地震の発生が危ぶまれています。相生周辺では山崎断層地震がいつ発生してもおかしくない状況です。こうした中、十月三十一日

(水)、地震及び火災を想定した総合防災避難訓練を実施しました。地震発生の際、校内外放送が入ると同時に生徒たちは机の下に入って身の安全を確保し、次に火災発生の際、校内放送により火災発生場所と安全な避難経路を確認してグラウンドに速やかに避難しました。



講師の中で校長は、日頃から「什器の固定」「二つ以上の別方向への避難経路の確認」「避難経路には妨げとなるものを置かないこと」、「地震発生から二分は自分の身を守ることを最優先」、「揺れがおさまったら電気器具のプラグをコンセントから抜く」、「火を消し、ガスの元栓を閉める」等の地震に対する心構えや対応を話されました。また、生徒二名・教員一名が、相生消防署員の方にご指導いただいた、消火器を使った消火活動訓練を行いました。



トライやる・ウィーク

本校において「トライやる・ウィーク」の受入れを行いました。たつの市立揖保川中学校の二年生三名が十一月五日(月)から九日(金)まで、体験活動を行いました。校内や図書館の整備作業のほか、二年生のLHR活動参加、一年生の市政提言ポスター発表見学、授業見学、相高魅力



発見作業など多くの体験をしてもらいました。体育や芸術の授業では本校生とも交流し、短い時間でしたが、楽しい時間を過ごせたようでした。

このトライやる・ウィークを通して、いろいろな人が陰で仕事をしてくれていることが少しでもわかってもらえたのではないかと思います。中学生三名は、少し緊張している様子もみられましたが、最後まで一生懸命仕事をしてくれました。ぜひ本校に入學してほしいと願っています。また、この経験を生かして、周囲の方への感謝を忘れずに、今後の学校生活をより充実させてほしいと思います。



秋季 オープン・ハイスクール

十一月十日(土)、秋季オープン・ハイスクールを行いました。はじめに、校長が、本校の特色や勉強・部活動で活躍する生徒の様子などにもふれながら、挨拶しました。次に、進路指導部長が、二〇二〇年度から始まる新試験について、社会や大学入試の変化、本校での取組などをスライドとともに説明しました。続いて、教頭が、本校の入試概要などについて説明しました。そして、生徒会長が、本校の特徴や行事の様子、部活動の活動の様子を、映像や写真の視聴を交えながら紹介しました。最後に、自然科学コースの生徒が、自然科学コースの特徴や特別講義などの特色ある授業について詳しく紹介しました。



その後、五十分程度、本校教員が校内を案内し、土曜講座や校舎内の様子、学校紹介パネルの展示などを見学してもらいました。

